



新春の
ごあいさつ

こうして平成が始まり、続いて手塚治虫先生、美空ひばりと昭和をつくった偉人たちも世を去ります。6月に始まった宇野宗佑内閣は本人の女性問題や参院選の敗北もあり7月に退陣を表明。自民党一党支配の終わりも予感させたのです。また海

時間、あるいは時間の区切り方は本当に不思議です。そんな時間のことを小林秀雄は「過去から未来に向かって飴のように延びた」ものだと書きました。そこまでべたべたするのも気持ち悪いですし、嫌なことはとっと忘れて新しい年をおだやかに過ごしましょう。昭和百年、今年もよろしく願います。

その酔いが続かなか、友人からの電話で起こされ、昭和の終

と思いつつながら布団でごろごろしていました。

前日に終わり、同僚たちと朝まで飲んでいたのでした。

「昭和百年」を迎えて—— 世界はいつも「激動」続き 嫌なこと忘れ穏やかに

できたのでしようし、これから埋められていくのでしょうか。

昭和が終わった1989年1月7日、当時、大学院生だった僕は池袋の木造賃貸アパートで昼まで寝ていました。講師をしてきた予備校の集中講義が

今日で昭和も終わる。でも今日も明日も1989年のうちの同じ24時間。1週間前に新年になって今日はまだ松の内。いろんな時間の区切り方があるなあ

こうしてみると1989年は「激動」という単語がふさわしかったのかもしれない。しかし昨年2024年も日本では能登半島地震が始まり、世界では複数の戦争が継続中です。おそらくはどの年も激動で埋められ



新潟国際情報大学
学長 越智 敏夫

焉を知りました。これから皇居に行くぞというその友人の電話を5秒で切った僕はまた寝ようとしながらいくつかのことを考えました。

外では11月にベルリンの壁が崩壊、クリスマスにはルーマニアのチャウシエスク大統領夫妻が特別法廷での死刑判決後、5分で銃殺されます。

CONTENTS

2面
国際理解セミナー
6年度企業懇談会
佐々木OGゼミ

3面
中堅・スタートアップ企業研究セミナー
ビジネスイベント「日々是新」に参加して

2・3面
教員の活動

4面
にいがた2km食花マルシェ2024
「フェアトレード大学」に認定
K-POPダンスカバーサークルVV5
新潟・ソウル便就航45周年式典に出演



国際理解セミナー

ついでにだけ取り組みました。

新潟県国際交流協会主催の「国際理解セミナー」が12月1日、本校みぎ野キャンパスで開催されました。県内の大学や文化施設が毎年リレー形式で開催するもので、これまでの「国際理解講演会」に代わるセミナー

今回はSABC International Corporation ジェネラルマネージャーの河浦美絵子氏を講師にお招きし、「台湾と日本の絆を探る旅へようこそ」のテーマで、海外旅行先でも人気の台湾の歴史や文化について語つ

「台湾と日本の絆探る旅」

河浦美絵子氏 (SABC)

として、より多くの方々に「台湾の日常や歴史など、



ていただきました。セミナーでは5名の参加者が熱心に聴講しました。

リアルな文化を聞くことができ、より身近に感じる「台湾」などの感想が寄せられ、異文化との向き合い方について考える、有意義な時間となりました。(国際交流委員会)



6年度企業懇談会

本学教職員が企業・団体の採用担当者らと情報交換する令和6年度「企業懇談会」が11月20日、ANAクラウンプラザホテル新潟で開催され、27回目の今年度は245社から3559名が

参加しました。はじめに越智敏

夫学長が開会の挨拶をし、参加企業で卒業生が活躍できていることへの謝辞を述べました。

第1部講演会では、野球解説者のデーブ大久保氏が「デーブ流人材育成法」と題して講演、野球を通して学んだ仕事に活かせる大切な姿勢について、ユーモア

245社の人事担当者が参加

講演会と情報交換で交流

を交えながら語りました。第2部の懇親会では佐々木辰弥理事長が、本学学生採用への御礼と今後に向け

が、採用計画や卒業生の近況について話し合い、懇親を深めました。(キャリア支援課)



第一部 講演会



第二部 懇親会

佐々木OGゼミ

去る11月2日、本学を2014年に卒業したゼミ生たちが集い、「10年ぶりのゼミナール」が開かれました。写真のように、子連れで参加した諸君もいました。前と同じゼミ室で、学部生時代に読んだ、エーリッヒ・フロム『愛するということ (The Art of Loving)』をテキストにして、真剣に議論しました。みんな生活に追われても、引越しても、このテキストだけはなくさず、何度も読み返していたようです。人生経験を積んで、議論の内容はもちろんグッと深まりました。その後、参加が可能な諸君とは、

10年ぶりのゼミナール

近くの岩室温泉で「10年ぶりのゼミ合宿」も実現しました。いざれにせよ、朋あり、遠方より来たる…。本当にうれしく楽しい一日でした。(国際文化学科教授 佐々木寛)



かつてゼミを行っていた同じ部屋で。

育心理学会第66回総会 (アクトシティ浜松)

佐藤 泰子(国際文化学科・講師)

・(2024年10月12日・13日) "Bridging Confidence Gaps in EFL: ChatGPT as a Game-Changer" The 2024 ESBB International TESOL Conference & KOTESOL National Conference (Gwangju National University of Education in Korea)

謝 凱雲(経営学科・教授)

・(2024年11月9日) 「産学連携による企業成果の考察 一燕三条の中小企業事例から」 東アジア経済経営学会 (東洋大学)
・(2024年12月7日・8日) 「インターンシップによる教育効果と企業成果の考察」 日本ベンチャー学会第27回全国大会 (開志専門職大学)

鈴木 佑也(国際文化学科・准教授)

・(2024年6月28日・29日) "Collective Living Projects in the Soviet Era: "Kritovo" and the Architectural Group NER's Innovations in Architectural Form Mid- to Late-1960s" ICEESS 2024 (ソウル・漢陽大学)

山田 裕史(国際文化学科・教授)

・(2024年9月25日) 「カンボジア—人民党体制の維持と選挙をめぐる強制力—」 アジア経済研究所夏期公開オンライン講座コース8「ベトナム、ラオス、カンボジアの独裁体制と強制力—国際的指標は実態を反映しているか?」 (オンライン)

3) 委員・社会的活動・記事・その他

木村 誠(経営学科・教授)

・(2024年10月4日) 日本システムダイナミクス学会JSDカンファレンス優秀発表賞

佐藤 泰子(国際文化学科・講師)

・(2024年10月30日) 新潟国際情報大学 弥彦中学校 第1回国際交流授業 (弥彦小学校)

謝 凱雲(経営学科・教授)

・(2024年9月1日より新規~2025年8月31日) 「産学連携による地場産業調査プロジェクト委員会」 客員教授 (高雄科技大学)

近山 英輔(情報システム学科・教授)

・(2024年10月11日より新規~2026年3月31日) 弥彦村立保育・教育施設の在り方検討委員会副委員長 (弥彦村教育委員会)

藤瀬 武彦(経営学科・教授)

・(2024年10月26日・27日) 第55回北信越学生陸上競技秋季選手権大会 副会長 (デンカビッグスワンスタジアム・新潟市)
・(2024年10月31日) 株式会社社会保険出版社・コガソフトウェア株式会社共催オンラインセミナー 講師「健康寿命を延ばす!効果が出るフィットネストレーニングの活用法」 (対象: 健保、企業、自治体に所属している保健師、管理栄養士、看護師、健保職員など85名)

山田 裕史(国際文化学科・教授)

・(2024年10月20日) 時事ドットコム「父の強権、親中路線踏襲 在日活動家も弾圧対象にフン・マネット政権1年・カンボジア」にコメント掲載 <https://www.jiji.com/jc/article?k=2024101900346&g=int>
・(2024年10月21日) 時事速報「カンボジア野党弾圧、日本政府は苦言を=新潟国際情報大の山田教授の問一答」 (pp.11-13) にインタビュー記事掲載
・(2024年10月31日) 東京新聞「日本国内での言動で「弾圧」が始まった…独裁化するカンボジア政権 救いを求める声に日本政府は沈黙続ける」にコメント掲載 <https://www.tokyo-np.co.jp/article/363586>

中堅・スタートアップ企業研究セミナー

経営情報学部

明氏からは「起業家精神と持続的成長力」、和田ステンレス工業の和田克行氏からは「事業転換の歴史と戦略」、マルナオの福田隆宏氏からは「世界ブランドへの道」について、貴重な経験や知見を語っていただきました。

本学経営情報学部は、2024年7月から11月にかけて、県内企業のイノベーションを促進するためのセミナーを3回開催しました。教員だけでなく、学生も積極的に参加し、企業の経営戦略やマーケティング戦略など、多角的な視点から活発な議論を繰り広げました。



意見交換会

セミナーの目的は①県内企業のイノベーションを促進



グラムスリー 坂本 明氏

し、競争力向上を図る ②将来を担う若手の人材を育成するの2点です。県内企業が

活発な議論でイノベーション促す

大学・企業の連携で地域に貢献

抱える課題や新たなビジネスチャンスを探り、それらを解決するアイデアを創出することで、地域経済の活性化に貢献することを目指します。

セミナーでは、各業界で活躍する第一線の代表取締役社長をお招きし、講演会を行いました。グラムスリーの坂本



和田ステンレス工業 和田 克行氏

た。学生にとっては、企業経営者や社会人と直接交流することで、企業の現状や課題を



マルナオ 福田 隆宏氏

深く理解し、自身のキャリアを考える貴重な機会となりました。

参加した学生からは、「企業のトップから生の声を聞けて、大変刺激になった」、「新潟の企業の未来について、一緒に考えられて良かった」などの声が寄せられました。

今回のセミナーを通じて、大学、企業と学生が連携することで、地域活性化に貢献できる可能性が示されました。今後も取り組みを継続し、新潟のイノベーションをさらに加速させていく予定です。(経営学科 教授 藤田 美幸)

ビジネスイベント

日々は新に参加して

私たち内田亨2年ゼミナールは10月10日に万代島多目的広場で行われたビジネスイベント「日々は新(ひびこれあらた)」に参加しました。「日々は新」は次世代リーダーのイノベーションを刺激し、

てこのイベントを知りました。これまで企業に話を聞きに行く機会がなく初めての試みでした。礼儀や言葉遣いなどの基礎知識がなかったため、内田ゼミで礼儀作法を教

っていて圧倒されましたが、皆さんの活気と熱意を感じ、私も緊張がほぐれ堂々と行動することができました。話を聞くことができ、たのは2社だけでしたが、多くのブースに足を運びましたので心残りがあります。

協力関係が生む「場」の大切さ学ぶ

今回「日々は新」に参加して、

多くの出会いや新しいビジネスの発芽の機会として開催されるイベントです。今回は50社余のブースが展示されました。

私はい田ゼミの授業で初めて

えてもらって臨みました。本番では臨機応変に対応することが難しく戸惑いもありましたが、企業の方のコミュニケーション力に助けられました。会場は思ったよりもにぎわ



イベント会場にて (左が谷川ひかりさん)

多くの刺激や学びがありました。出展者や参加者の積極的な姿勢に触れ、地域社会の問題解決に向けた多様なアプローチや取り組みの重要性を実感しました。特に、企業の方々

教員の活動 (本人申告による)

1) 研究論文・図書

- 内田 亨(経営学科・教授)
 - ・(2024年) Philippe Orsini "Antecedents of subjective well-being at work - the case of French permanent employees" Evidence-based HRM Vol.11 No.4 (1040-1062)
- 梅原 英一(情報システム学科・教授)
 - ・(2024年7月) K. Ueda "SSCDV: Social media document embedding with sentiment and topics for financial market forecasting" Expert Systems With Applications, ELSEVIER Vol.245(1-17)
- 區 建英(国際文化学科・教授)
 - ・(2024年11月) 訳書「忠誠與叛逆: 日本轉型期精神史の多重面向」台湾聯經出版公司(424頁)
- 佐々木 宏之(経営学科・教授)
 - ・(2024年10月) "Interaction of cognitive and motivational processes in asymmetric preferences for gains and losses." Basic and Applied Social Psychology, Taylor & Francis Vol.46 (446-455)
- 鈴木 佑也(国際文化学科・准教授)
 - ・(2024年4月) 「地下鉄-大都市の由縁」(85~89頁)「住宅事情-集合住宅から見る現代ロシアの暮らし」(341~345頁) 沼野充義「ロシアを知る事典」明石書房(85~89・341~345頁)
 - ・(2024年5月)「本田見子著『革命と住宅』ゲンロン、2023年、346頁」ロシア語ロシア文学研究 56号(150~160頁)
- 近山 英輔(情報システム学科・准教授)
 - ・(2024年11月)「大規模言語モデルによる画像空間の再構成」画像ラボ 日本工業出版 第35巻 11号(5~9頁)
- 堀川 祐里(国際文化学科・准教授)
 - ・(2024年12月)「第二章 ジェンダー平等は健康の権利を放棄しなければ得られないか——労

働きの再生産から考える生理休暇の意義」堀川祐里編著『労働環境の不協和音を生きる』晃洋書房(38~62頁)

2) 学会・研究会・講演等

- 今井 裕紀(経営学科・講師)
 - ・(2024年11月10日)「アンダーエンプロイメント概念の再考: 日本における雇用に注目して」経営行動科学学会第27回年次大会(大阪公立大学)
- 梅原 英一(情報システム学科・教授)
 - ・(2024年9月10日・11日) "Study on the Difference in Evacuation Time between Pedestrians and Cars and Traffic Congestion during a Disaster in Yahiko Village" ESTCON2024 (Kota Kinabalu)
 - ・(2024年9月29日)「金融予測モデル結果の説明改善のためのLLMを用いた文章生成手法の提案」情報処理学会関西支部支部大会(オンライン)
- 小林 伊織(国際文化学科・准教授)
 - ・(2024年9月21日)「少数言語の存続かシフトか: 台湾の社会言語学的現況と展望」JACET言語政策研究会(早稲田大学)
- 佐々木 桐子(経営学科・准教授)
 - ・(2024年12月7日・8日)「道路交通問題への離散系シミュレーションの適用」日本経営システム学会第73回全国研究発表大会(広島工業大学)
- 佐々木 宏之(経営学科・教授)
 - ・(2024年8月27日・28日)「動機づけを高める励ましの言葉がけーメッセージの送り手・受け手の観点からー」東北心理学会第77回大会(宮城学院女子大学)
 - ・(2024年9月6日~8日)「非共感者の視覚探索における典型型文字の反応促進」日本心理学会第88回総会(熊本城ホール)
 - ・(2024年9月14日~16日)「制御適合メッセージは幼児のパフォーマンスを高めるか?」日本教



クイズイベントの様子

当日は学生が中心となり、来場者に向けた楽しいプログラムを用意しました。「キーワードラリー」では、食や地産地消に関連するSDGsを分かりやすく解説したキーワード看板を設置し、2日間約700人の参加者が会場を巡りながら楽しんでいました。2日目にはSDGsにまつわるクイズイベントが実施され、参加者はゲーム感覚で楽しみながらSDGsの達成につながる身近な行動について深く関心を深めていきました。

(企画推進課)

学生考案のラリーやクイズ

ゲーム感覚で楽しむ市民

な行動について深く関心を深めて

関する連携協定を結んだことをきっかけに、子どもからお年寄りまで幅広い世代を対象にSDGsについて理解を深めてもらうことを目的に行われました。

参加した学生たちからは、「幅広い層がSDGsに関心を持ってくれてうれしかった」、「5月の打合せから当日の運営まで企画する大変さも感じたが、いい経験になった」など充実した感想がありました。

SDGsの目標達成期限が2030年に迫り、来年は、国連が2020年に位置付けた「行動の10年」の折り返しを迎えます。今後も本学は新潟市と連携し、SDGsが多くの市民に定着するような啓発活動を通して、地域とともに持続可能な未来の実現に向けて取り組んでいきます。

本学はこのたび、学内におけるフェアトレード普及に関する一定の基準を満たし、静岡文化芸術大学や青山学院大学などに次ぐ、日本で6番目の「フェアトレード大学」として認定されました。

フェアトレード大学とは、フェアトレードの理念に賛同し、その普及や推進活動を積極的に行っている大学を、「日本フェアトレード・フォーラム」が認定する制度です。

「フェアトレード大学」に認定

「NUISFT」の活動が実を結ぶ

私たちがフェアトレードの学内推進団体「NUISFT」では、フェアトレードの普及を図るため、2017年度から様々な活動を行ってきました。2024年8月に同フォーラムに認定を申請し、10月31日に認定審査員2名が来学して現地調査が行われ、11月18日

に、学外にも普及させる活動を行いました。さらに、地元の団体や企業、他大学と連携したイベントを企画し、学外にも普及させる活動を行いました。

「フェアトレードとは」開発途上国の商品を正当な価格で購入し、生産者の生活力や国の成長を支援する仕組みのこと。

(NUISFT代表 瀧澤 菜帆)



フェアトレード大学認定 現地調査

いと考えています。

今回の認定を契機に、より多くの人々にフェアトレードを身近に感じてもらうよう、努力を続けていきます。

KPOPダンスカバースカパーサークルVVS

私たちKPOPダンスカバースカパーサークルVVSは、12月17日に新潟空



新潟「就航45周年式典」に出演

り、出演の計画を持ってきてくれたことでした。

練習通りに踊ることができました。VVSは学外イベントへの出演経験が少なく新しい挑戦でしたが、メンバーやイベント関係者の協力で成功させることができました。

式典ではKPOPダンスを3曲披露し、そのうちの1曲はTWICEの「Celebrate」というお祝いの気持ちを込めた曲を選びました。全身黒の衣装と大韓航空の制服をイ

メージした衣装の2パターン準備し、どちらにも首にスカパーを巻いたところが今回の衣装のポイントです。制服をイメージした衣装は、水色のブラウスに白のスカートというキャビンアテンダントのような衣装にしました。当日はセレモニーに参加する方、メディア関係者などに見ていただき、とても緊張しましたが、楽しく